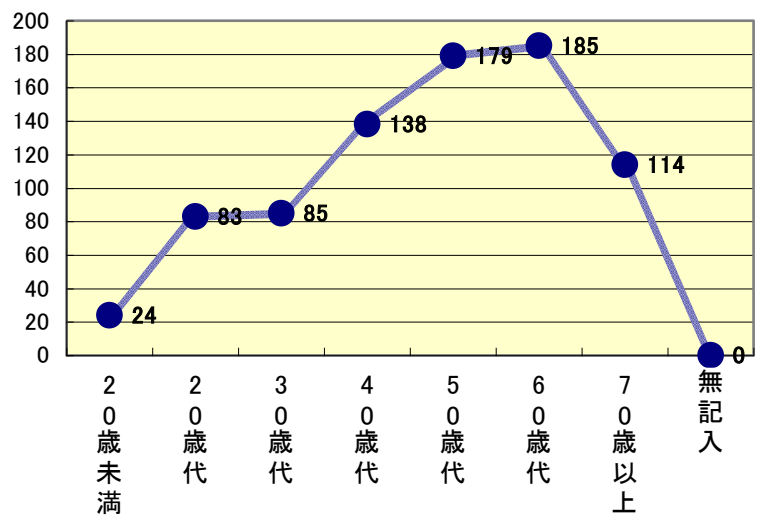


調査の概要

- 調査期間 2005年7月～2005年8月
- 配布数 1,000
- 回収数 808
- 回収率 80.8%
- 回答者

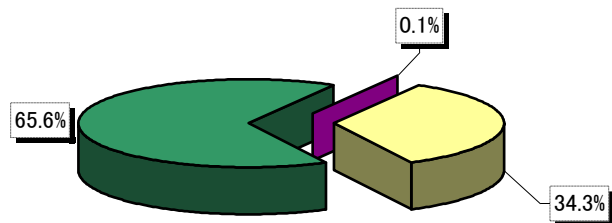
年代別

年代	数	%
20歳未満	24	0.8
20歳代	83	2.6
30歳代	85	8.6
40歳代	138	12.2
50歳代	179	22.8
60歳代	185	29.7
70歳以上	114	18.3
無記入	0	2.6
合計	808	100.0



性別

性別	数	%
男	277	34.3
女	530	65.6
無記入	1	0.1
合計	808	100.0

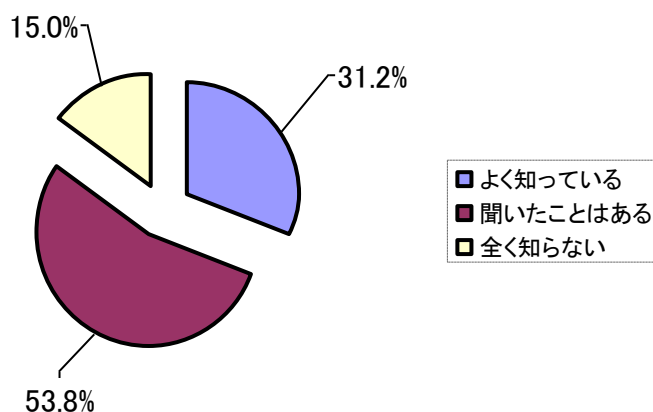


男 女 無記入

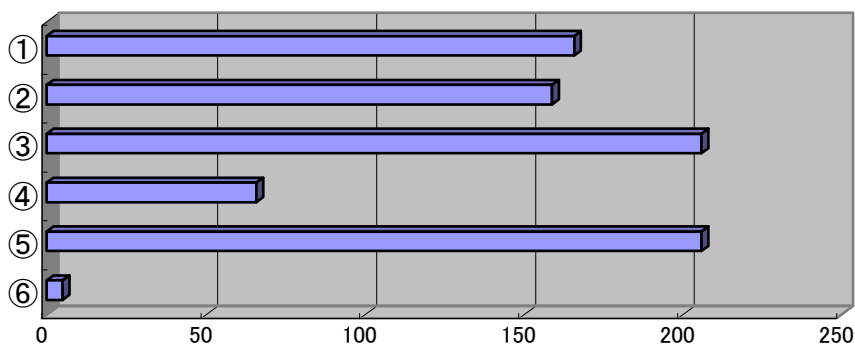
1.あなたは、京都議定書に定められた二酸化炭素等の温室効果ガス削減目標のなかに森林による二酸化炭素吸収分が含まれることを知っていますか？ 次のうち 1 つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
よく知っている	252	31.2
聞いたことはある	435	53.8
全く知らない	121	15.0
無記入	0	0
計	808	100.0

今年 2 月に京都議定書が発効されて以来、温室効果ガスの削減目標について報道されてきた。そのため、435 人(53.8%)が「聞いたことがある」と回答している。「よく知っている」252 人(31.2%)を合わせると、85.0%となる。「全く知らない」のは 121 人(15%)だけだった。



2.日本の森林吸収の計画の対象となる森林は、次のどれだと思いますか。次のうち 1 つ選んで、番号を記入してください。



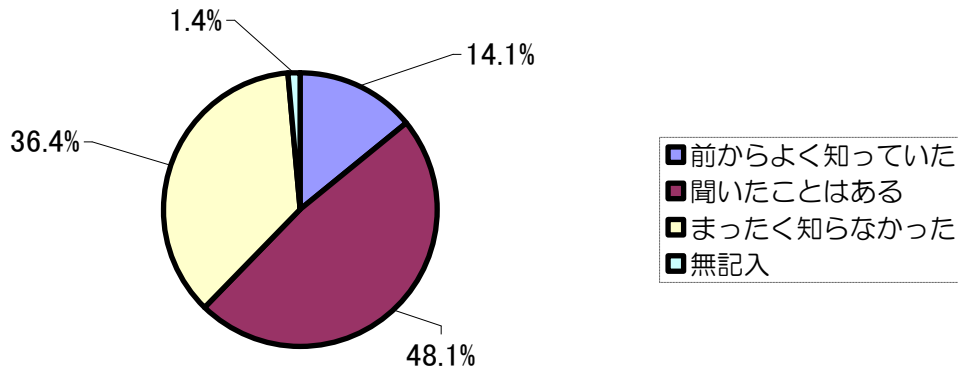
項目	数	%
①日本国内の全ての森林と、海外で日本政府が投資した全ての森林	166	20.5
②日本国内で一定の森林経営が行なわれている森林と、海外で日本政府が投資した全ての森林	159	19.7
③日本国内で一定の森林経営が行なわれている森林	206	25.5
④日本国内の国有林	66	8.2
⑤分からない	206	25.5
⑥無記入	5	0.6
計	808	100.0

「日本国内で一定の森林経営が行なわれている森林」と「分からない」がそれぞれ 25.5%(206人)で第1位となった。第2位が「日本国内の全ての森林と、海外で日本政府が投資した全ての森林」で20.5%(166人)、続いて19.7%(159人)の人が「日本国内で一定の森林経営が行なわれている森林と、海外で日本政府が投資した全ての森林」と回答している。

温室効果ガスの削減目標に森林による二酸化炭素吸収分が対象になることは知っていても、具体的内容を知っている人は少ないことが分かった。

3.京都議定書では、日本は温室効果ガスを1990年比で6%削減することが決められています。このうち、約2/3に当たる3.9%については、国内の整備された森林による二酸化炭素吸収で削減することになっています。このことをあなたは知っていましたか?次のうち1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
前からよく知っていた	114	14.1
聞いたことはある	389	48.1
まったく知らなかった	294	36.4
無記入	11	1.4
計	808	100.0

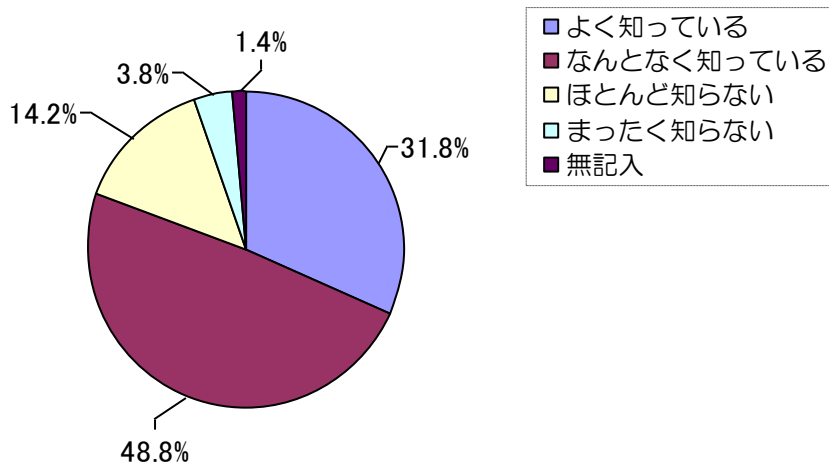


約半数の人(48.1%,389 人)が「聞いたことはある」が、36.4%(294 人)が「全く知らなかった」と回答している。二酸化炭素等の温室効果ガス削減目標の中に森林による吸収分が含まれていることは知っているも、具体的な数値を知っている人が少ないことが分かった。

4.世界では森林の破壊が進み、一方日本では、手入れをしないために森林の荒廃が進んでいるといわれています。あなたはこの違いを知っていますか。次のうち 1 つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
よく知っている	257	31.8
なんとなく知っている	394	48.8
ほとんど知らない	115	14.2
まったく知らない	31	3.8
無記入	11	1.4
計	808	100.0

「よく知っている」257 人(31.8%)と「なんとなく知っている」394 人(48.8%)を合わせると、約 8 割の人が世界の森林の破壊と日本の森林の荒廃の違いを知っていることが分かる。「ほとんど知らない」(115 人、14.2%)および「まったく知らない」(31 人、3.8%)と回答した約 2 割の人は、世界の森林破壊が進んでいることは報道等で知っているが、日本の森林の荒廃状況を知らないと考えられる。

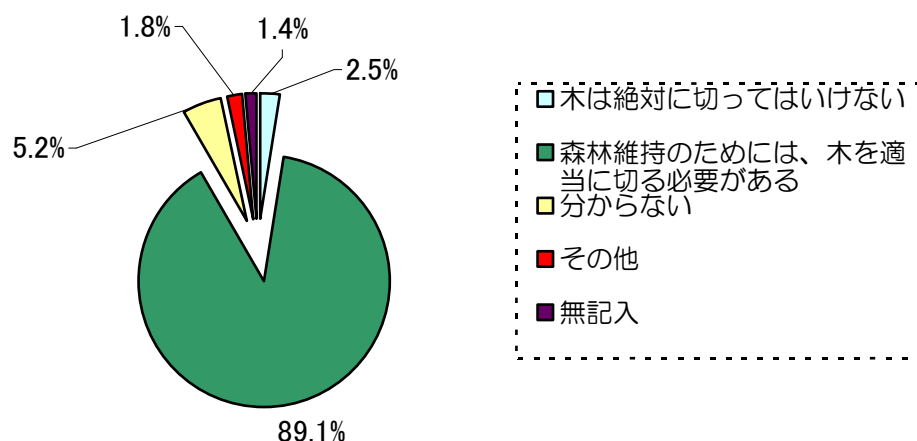


5.森林保全について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
木は絶対に切ってはいけない	20	2.5
森林維持のためには、木を適当に切る必要がある	720	89.1
わからない	42	5.2
その他	15	1.8
無記入	11	1.4
計	808	100.0

【その他】切っても植林を行なう必要あり。計画的な伐採と植林保全の徹底。場所によって①と②を選択すべき。切ってもいいところの木を適当に切る。ダメなところは絶対ダメ。花粉症の原因になっている木は切る!!、など

約 9 割の人が「森林維持のためには、木を適当に切る必要がある」と回答。「わからない」と回答した人が 42 人(5.2%)、「木は絶対に切ってはいけない」と木の伐採について否定している人も 20 人(2.5%)いる。



6.国産材や国産材を利用した紙について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号を記入してください。

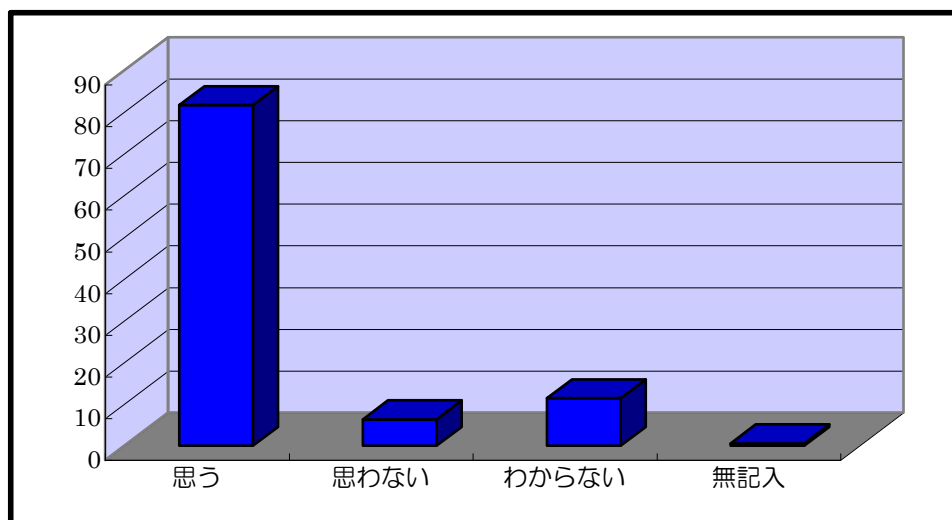
項目	数	%
木や紙はできるだけ使わない方がよい	79	9.8
木や紙は積極的に使うほうがよい	38	4.7
環境破壊につながらない木や紙に限って、積極的に使うほうがよい	591	73.1
わからない	58	7.2
その他	28	3.5
無記入	14	1.7
計	808	100.0

【その他】無駄のない有効的な活用。リサイクル再生紙を優先的に使うのが望ましい。木も紙も必要なら使っているが、過剰に使うことが問題。「破壊につながらない木や紙」はありえない。より環境破壊につながらないことをできる限り確認・判断した上で使うほうが良い。紙を使っても良いが、使った紙をリサイクルすることが必要だと思う。など

圧倒的多数の人(591人、73.1%)が「環境破壊につながらない木や紙に限って、積極的に使う方がよい」と回答している。【その他】の意見を見ると、「再生紙を優先」「使った紙をリサイクル」「過剰に使うことが問題」など、3Rの原則《リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再使用)》に沿った記述が多かった。また、「破壊につながらない木や紙はありえない」という意見もある。

7.あなたは、日本の木材の方が、外国の木材よりも日本の風土や気候に合うと思いますか？
あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
思う	660	81.7
思わない	51	6.3
わからない	92	11.4
無記入	5	0.6
計	808	100.0

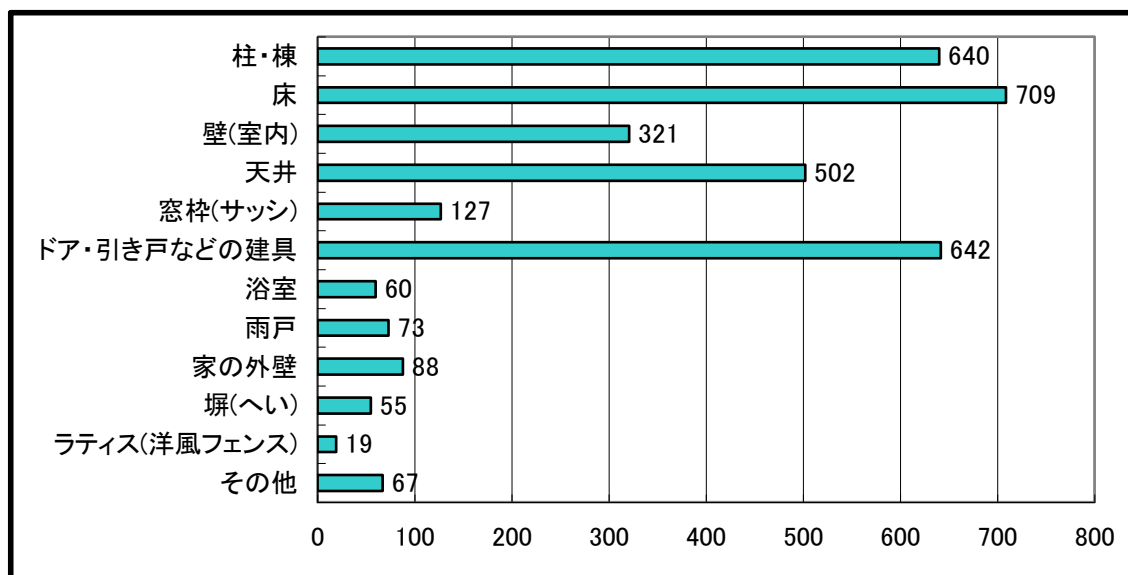


8 割以上の人(660 人、81.7%)が、「思う」と答えている。日本で使用する木材は、日本で育った木を使う方が気候・風土に合っていると考えていることが分かった。「分からない」が 92 人(11.4%)、続いて「思わない」と回答した人が 51 人(6.3%)だった。

8.あなたの住まいで木を使った部分がありますか？ いくつでも番号を記入してください。

項目	数	%	順
柱・棟	640	79.2	3
床	709	87.7	1
壁(室内)	321	39.7	5
天井	502	62.1	4
窓枠(サッシ)	127	15.7	6
ドア・引き戸などの建具	642	79.5	2
浴室	60	7.4	10
雨戸	73	9.0	8
家の外壁	88	10.9	7
塀(へい)	55	6.8	11
ラティス(洋風フェンス)	19	2.4	12
その他	67	8.3	9

【その他】ベランダ(4)、ウッドデッキ(4)、階段(3)、板ふすま(2)、押入れ(2)、家具全て(2)、障子(2) 床の間、机、門、バルコニーの手すり、など



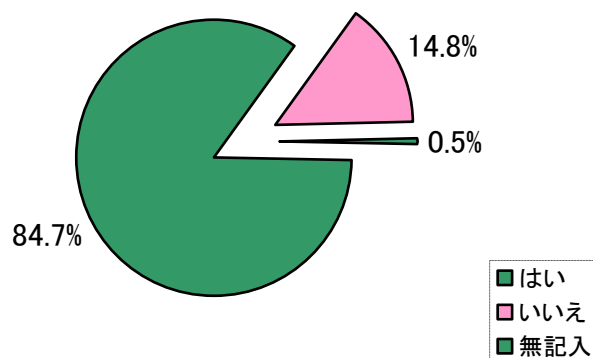
第1位が「床」709人(87.7%)、第2位は「ドア・引き戸などの建具」642人(79.5%)、第3位は「柱・

棟」640人(79.2%)、続いて第4位が「天井」502人(62.1%)で、1位から4位については、回答者の半数以上が選んでいる。

【その他】には、ベランダ、ウッドデッキ、階段など30種類の「木を使った部分」についての記述があった。住まいの中のさまざまな部分で木を使っていることが分かる。

9.あなたの住まいにもっと木を取り入れたいですか？ 次のうちどちらかを選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
はい	684	84.7
いいえ	120	14.8
無記入	4	0.5
計	808	100.0

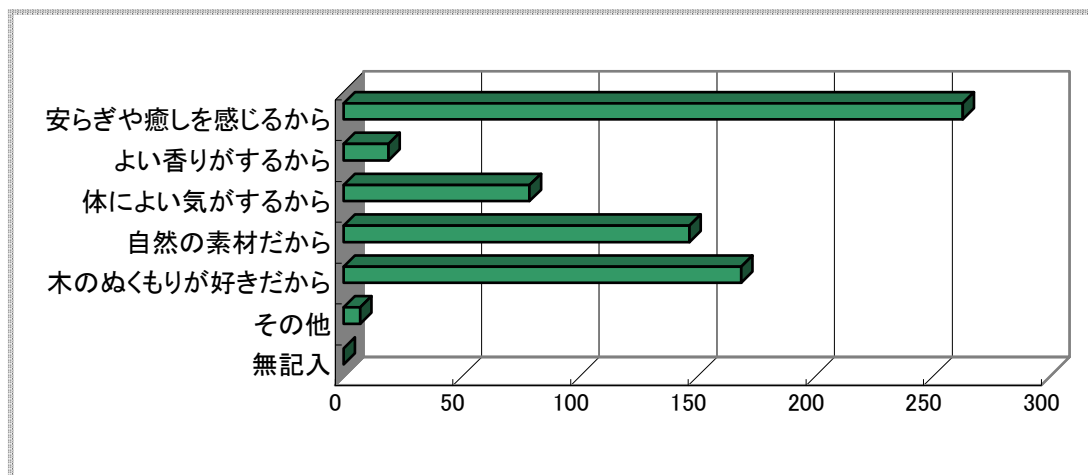


圧倒的多数の人が「はい」と答えている(684人、84.7%)。木を取り入れた生活をしたいと望んでいることがよくわかる。また、「いいえ」と回答している人も120人(14.8%)いた。

10.Q9で「はい」と答えた方にうかがいます。それはなぜですか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
安らぎや癒しを感じるから	263	38.5
よい香りがするから	19	2.8
体によい気がするから	79	11.5
自然の素材だから	147	21.5
木のぬくもりが好きだから	169	24.7
その他	7	1.0
無記入	0	0
計	684	100.0

【その他】シックハウスの可能性を小さくできるから。古びて味を出す、長持ちする。質感、相の美しさ、加工性、DRY。日本の林業の促進のため、など



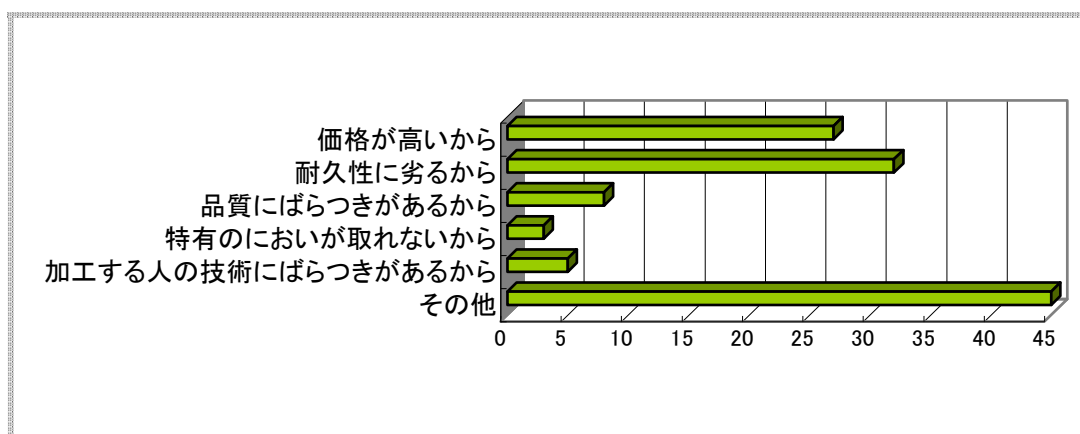
「住まいにもっと木を取り入れたい」と回答した人が 684 人いた。その理由の第 1 位は、「安らぎや癒しを感じるから」263 人(38.5%)、第 2 位は「木のぬくもりが好きだから」169 人(24.7%)、第 3 位「自然の素材だから」147 人(21.5%)と続く。

木に安らぎや癒しを感じたり、そのぬくもりが好き、体によい、よい香りなど、木に対してとても良い印象を持っていることがわかる。

11.Q9 で「いいえ」と答えた方にうかがいます。それはなぜですか。あなたの考えに最も近いものを 1 つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
価格が高いから	27	22.5
耐久性に劣るから	32	26.7
品質にばらつきがあるから	8	6.7
特有のにおいが取れないから	3	2.5
加工する人の技術にばらつきがあるから	5	4.1
その他	45	37.5
無記入	0	0
計	120	100

【その他】十分取り入れてあるから。賃貸で手を加えられないから。木造住宅で十分木が使われているから。リフォームの予定がない。あえて木にこだわらない。家がマンションだから。など



「住まいにもっと木を取り入れたいですか」の質問に「いいえ」と回答した人が 120 人いた。その理由の第 1 位が「その他」で 45 人(37.5%)が回答。「その他」の記述の中では、「今の家に十分木を取り入れてあるから」が一番多かった。また、マンションだから手を加えられないとの理由も挙げられている。木に対して悪い印象を持っているから「いいえ」と回答しているのではないことが分かる。

第 2 位は「耐久性に劣るから」32 人(26.7%)、第 3 位は「価格が高いから」27 人(22.5%)と続く。

12.以下にあげた木を使った製品のうち、(A)現在あなたが使っている物、(B)昔は使っていたのに、今は使っていない物、(C)今は使っていないけれど、取り入れたい物について、いくつでも○をつけてください。

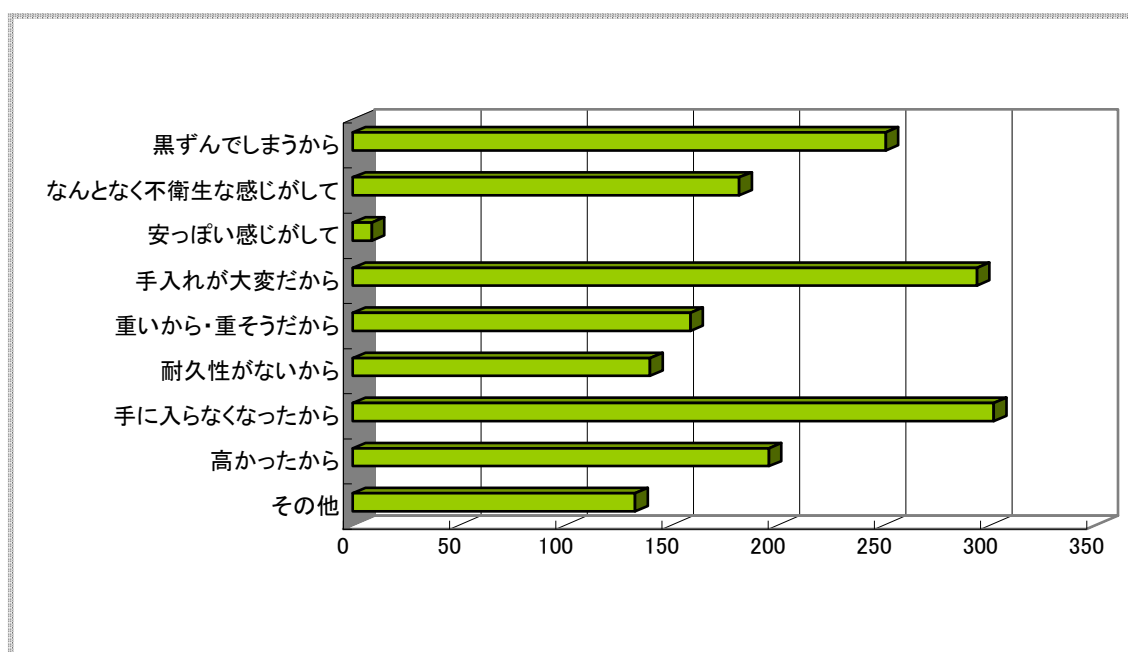
項目	A		B		C	
	数	%	数	%	数	%
①机・テーブル	744	92.1	71	8.8	31	3.8
②いす	652	80.7	122	15.1	39	4.8
③電気スタンド・照明器具	125	15.5	130	16.1	147	18.2
④家具(本棚、タンス、靴箱、ベッドなど)	752	93.1	40	5.0	28	3.5
⑤食器(箸・お椀・サラダボウル・菓子鉢など)	638	79.0	66	8.2	46	5.7
⑥まな板	453	56.1	250	30.9	47	5.8
⑦調理・炊事用具(すし桶、お盆、木べらなど)	619	76.6	109	13.5	34	4.2
⑧お風呂の手桶・すのこ	101	12.5	406	50.2	105	13.0
⑨浴槽	13	1.6	312	38.6	150	18.6
⑩木のおもちゃ	167	20.7	393	48.6	102	12.6
⑪プランターカバー	133	16.5	69	8.5	157	19.4
⑫ラティス(ガーデニング用の木の柵)	134	16.6	67	8.3	186	23.0
⑬ハンガー	314	38.9	269	33.3	67	8.3
⑭表札	188	23.3	233	28.8	80	9.9
⑮時計	179	22.2	190	23.5	85	10.5
⑯その他	30	3.7	5	0.6	15	1.9

【その他】住宅(家、物置、壁、玄関ドア、間仕切り、障子、襖、台所の引戸、ブラインド、ベランダのすのこ、ヴェランダの柵、お風呂)、家具(キッチンワゴン、仏壇、机、ジャングルジム、鏡台)、日用品(インテリア小物、バッグ、カバン、弁当箱、座布団、くず入れ、はがき、櫛、額、木箱、文具、お風呂のフタ、ブックスタンド、木彫品、楽器、健康器具、下駄、サンダル、くつべら)、農機具、など

13.Q12 で「昔は使っていたのに、今は使っていない物」に○をつけた製品について、理由はどれですか？ 5 つまで選んで、番号を記入してください。

項目	数	%	順
黒ずんでしまうから	251	31.1	3
なんとなく不衛生な感じがして	182	22.5	5
安っぽい感じがして	9	1.1	9
手入れが大変だから	294	36.4	2
重いから・重そうだから	159	19.7	6
耐久性がないから	140	17.3	7
手に入らなくなったから	302	37.4	1
高かったから	196	24.3	4
その他	133	16.5	8

【その他】子どものおもちゃだから(6)。必要なくなった(5)。年齢的にもう使わない。子どもがいない。木以外の入手が容易だから(一般的だから)。など



「手に入らなくなったから」が第1位で、302人(37.4%)が選んでいる。購入したくても販売されていない、または販売されているところがわからないことが分かる。続いて、第2位は「手入れが大変だから」294人(36.4%)、第3位は「黒ずんでしまうから」251人(31.1%)で、木の手入れは

大変だというイメージが強い。

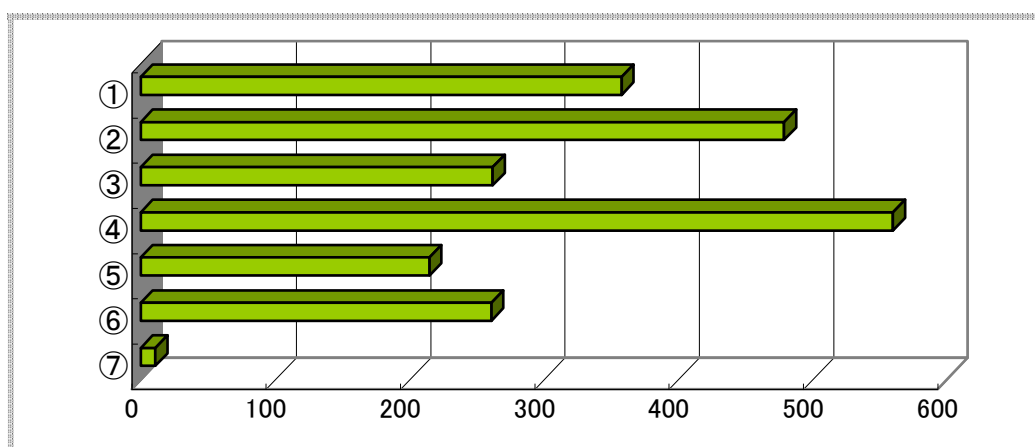
「その他」の記述を見ると、おもちゃなど子どものものが多く、子どもが大人になったからという理由が圧倒的だった。子どもに木のおもちゃを与えている人が多いことが分かった。

14.あなたは自分が使う(使っている)木の製品について、どんな情報がほしいですか？

3つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
①どこの国または地域の木か	358	44.3
②何の種類の木か(ヒノキ・サクラなど)	479	59.3
③無垢(むく)の木か、集成材か	262	32.4
④有害物質が使われていないかどうか	560	69.3
⑤違法伐採により木材が調達された製品でないかどうか	215	26.6
⑥どのような付加価値があるか(殺菌効果、殺虫作用、持続する香りなど)	261	32.3
⑦その他	11	1.4

【その他】手入れ方法など。耐久度。値段の比較。正しい手入れ法などメンテナンス法を知りたい。など



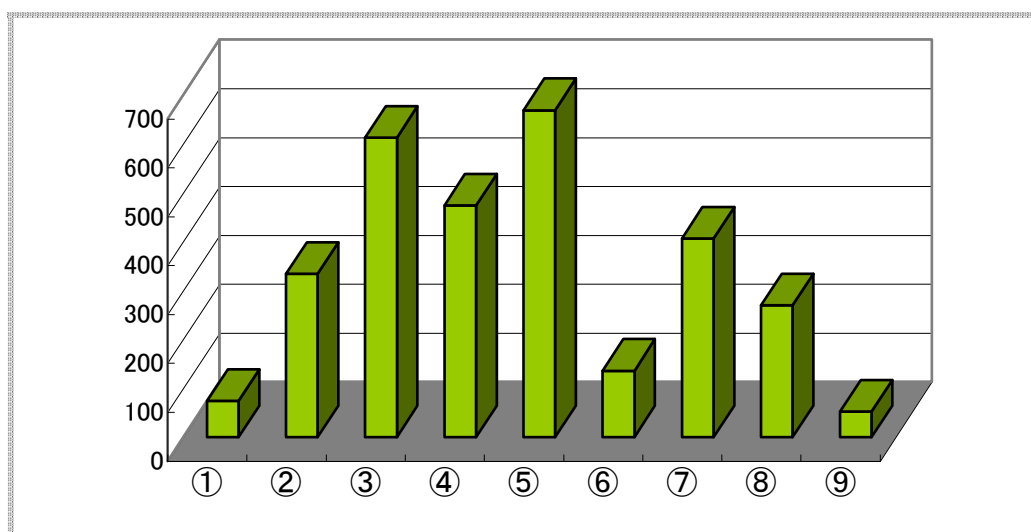
第1位は「有害物質が使われていないかどうか」(560人、69.3%)で、アレルギー対策だと考えられる。第2位は「何の種類の木か」479人(59.3%)、第3位は「どこの国または地域の木か」358人(44.3%)が回答している。

「その他」では、耐久度や手入れの方法が挙げられている。木についての情報が不足している。木の種類・地域、手入れ方法、など基本的な情報さえ消費者に提供されていないことが分かる。

15.最近、木の製品が少なくなっています。なぜだと思いますか？ 5 つまで選んで番号を記入してください。

項目	数	%
①木を切っではいけないから	74	9.2
②森林が減少しているから	334	41.3
③木の価格が高いから	613	75.9
④プラスチック等の方が軽いから	474	58.7
⑤プラスチック等の方が安いから	669	82.8
⑥製品に接着剤や塗料などの化学物質をたくさん使っているため、体に悪いから	136	16.8
⑦手入れが面倒だから	406	50.2
⑧材料となる木がないから	270	33.4
⑨その他	52	6.4

【その他】職人不足(2)。木工職人が減った。プラスチック等の方がデザインや色彩が豊富だから。製品を作るのに手間がかかるから。コストが高いから



第1位は「プラスチック等の方が安いから」669人(82.8%)、第2位は「木の価格が高いから」613

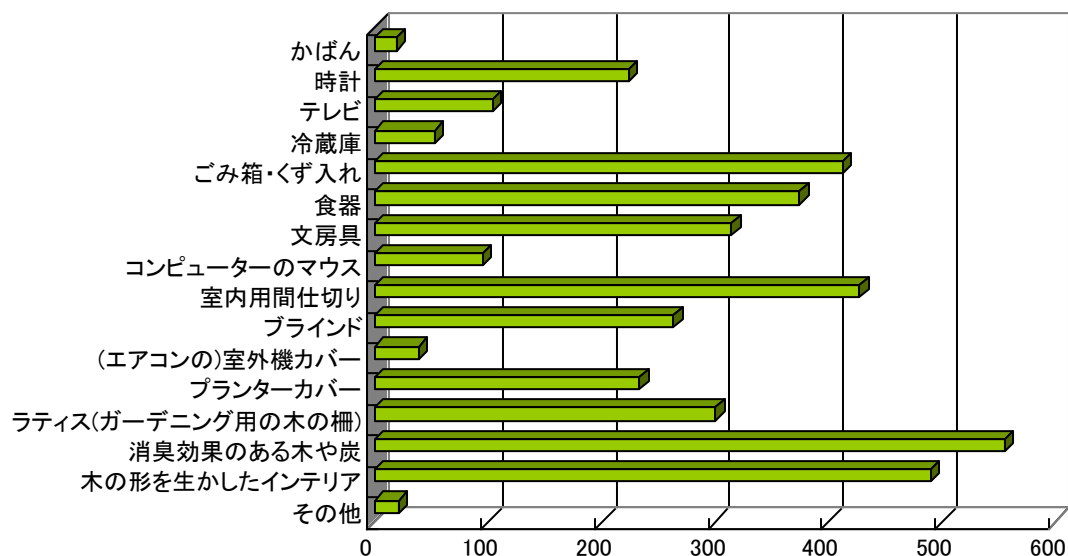
人(75.9%)、第3位は「プラスチック等の方が軽いから」474人(58.7%)が回答している。木の製品が少なくなっている理由として、プラスチック製品の方が「安くて軽いから」と回答している人が圧倒的に多い。

「その他」では、職人の減少、加工に手間がかかる、などの記述が多い。また、プラスチックのデザイン性、耐久性などプラスチックの特徴を挙げている人もいる。

16.あなたは次のうち木でできたどんな製品を買いたいと思いますか？ いくつでも選んで、番号を記入してください。実際にはない製品は、あったら買いたいかどうかで判断してください。

項目	数	%	
かばん	20	2.5	16
時計	224	27.7	10
テレビ	104	12.9	11
冷蔵庫	53	6.6	13
ごみ箱・くず入れ	413	51.1	4
食器	375	46.1	5
文房具	315	39.0	6
コンピューターのマウス	95	11.8	12
室内用間仕切り	428	53.0	3
ブラインド	264	32.7	8
(エアコンの)室外機カバー	39	4.8	14
プランターカバー	234	29.0	9
ラティス(ガーデニング用の木の柵)	301	37.3	7
消臭効果のある木や炭	556	68.8	1
木の形を生かしたインテリア	491	60.8	2
その他	22	2.7	15

【その他】家(2)、DVD ラック、コンピューター本体、印鑑入れ、欲しいものは今ない、など

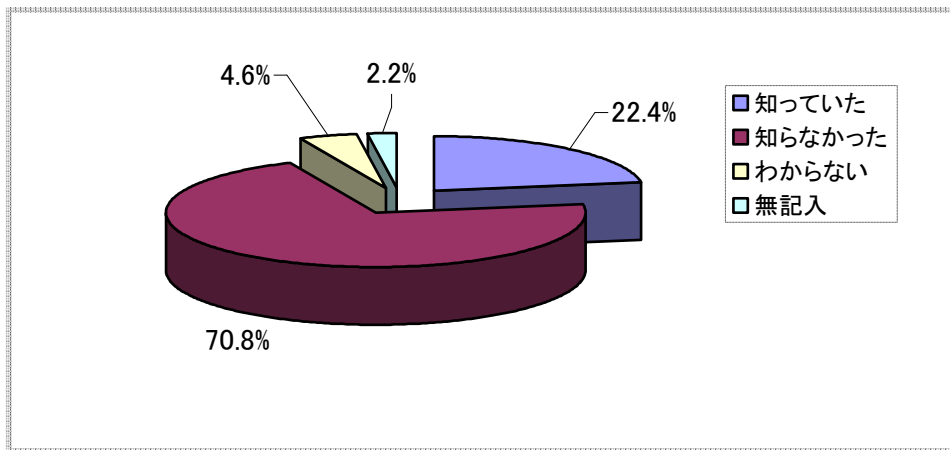


回答者の半分以上が回答したのは、「消臭効果のある木や炭」(556人、68.8%)、「木の形を生かしたインテリア」(491人、60.8%)、「室内用間仕切り」(428人、53.0%)、「ごみ箱・くず入れ」(413人、51.1%)だった。「その他」では、欲しいものはない、との記述もあった。

17.「カートカン」とは、間伐材などの国産材を 30%以上混入した紙で作られた、飲み物を入れる缶です。あなたはそのようなものがあることを知っていましたか？ 次のうち 1 つ選んで、番号を記入してください。

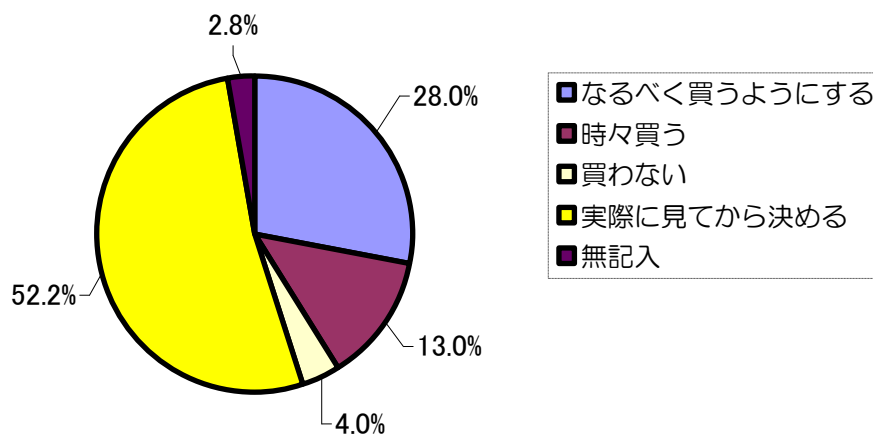
項目	数	%
知っていた	181	22.4
知らなかった	572	70.8
わからない	37	4.6
無記入	18	2.2
計	808	100.0

「知らなかった」と回答した人が圧倒的で、70.8%(572人)もいた。「知っていた」人は、わずかに 2 割強。一見すると缶と同じようなので「気がつかない」とも考えられるが、製品の特徴についての情報提供が不足していることが分かる。



18.「カートカン」に入った飲料は最近出回るようになりました。あなたは見かけたら買いますか？ 次のうち1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
なるべく買うようにする	226	28.0
時々買う	105	13.0
買わない	32	4.0
実際に見てから決める	422	52.2
無記入	23	2.8
計	808	100.0

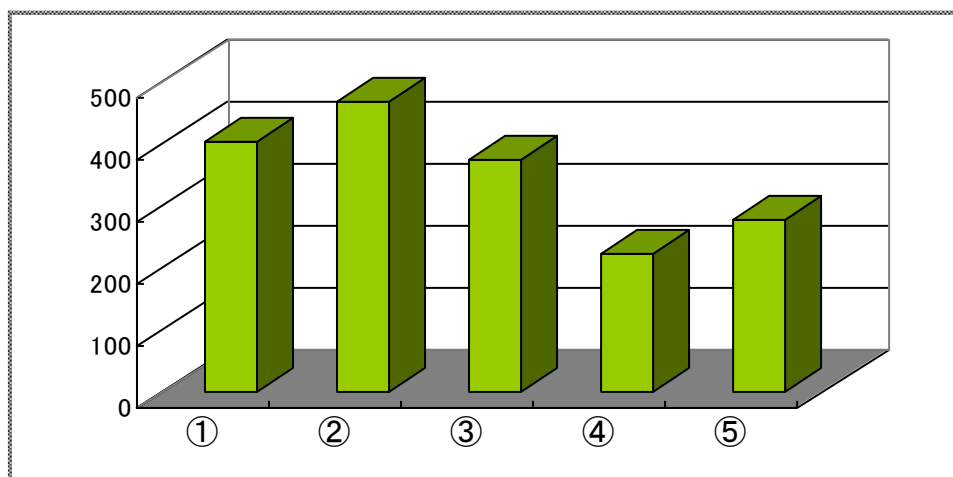


回答者の半数以上が「実際に見てから決める」(422 人、52.2%)と回答。実際に実物を手にとっ

て見てみないと分からないという現実的な回答である。

19.ギフト包装で、次のような「木」を使った包装が選べるとしたら、使いたいと思いますか？ いろいろと思うものの番号をいくつでも選んで記入してください。

項目	数	%
①間伐材入りの包装紙	402	49.8
②木の香りがする包装紙	467	57.8
③木の箱	371	45.9
④木の札の熨斗(のし)	222	27.5
⑤かんな屑(木の削り屑)をリボンのようにあしらった包装	275	34.0



「木の香りがする包装紙」が第1位で467人(57.8%)の人が回答している。第2位は「間伐材入りの包装紙」(402人、49.8%)、第3位は「木の箱」(371人、45.9%)だった。

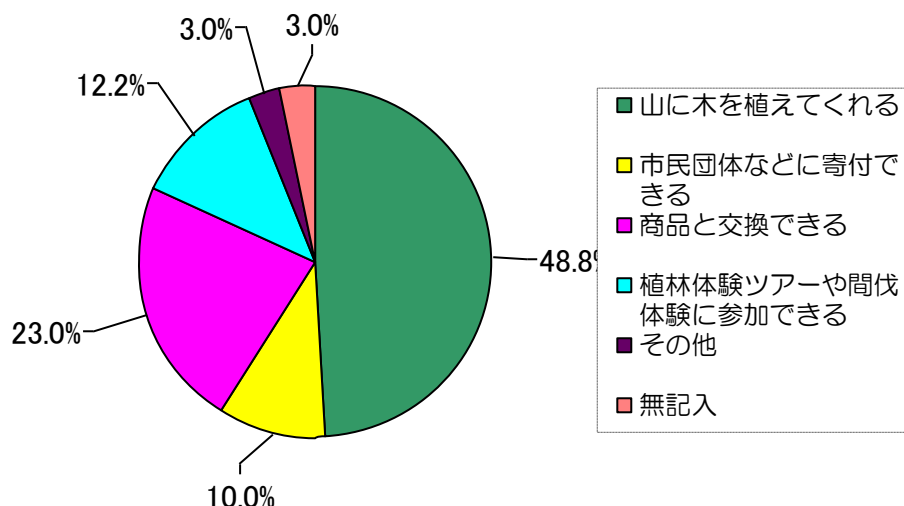
20 あなたはどんな仕組みだったらポイントを貯めようと思いますか？ 次のうち、よいと思うものを1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
①自分が貯めたポイントに応じて、山に木を植えてくれる	394	48.8
②自分が貯めたポイントを市民団体などに寄付できる	81	10.0
③自分が貯めたポイントに応じて、商品と交換できる	186	23.0
④自分が貯めたポイントに応じて、植林体験ツアーや間伐体験に参加できる	99	12.2
⑤その他	24	3.0
⑥無記入	24	3.0
計	808	100.0

【その他】いない(2)。このような仕組みに興味がない。全体でのポイントに応じて山に木を植える。もう少し実効性あるものを提案すべき。ポイントではなく、自動で木を植える、寄付をするなど、など

回答者の約半数が選んで、第1位となったのは、自分が貯めたポイントに応じて「山に木を植えてくれる」(394人、48.8%)だった。第2位は、「商品と交換できる」(186人、23.0%)、「市民団体などに寄付できる」(81人、10.0%)だった。

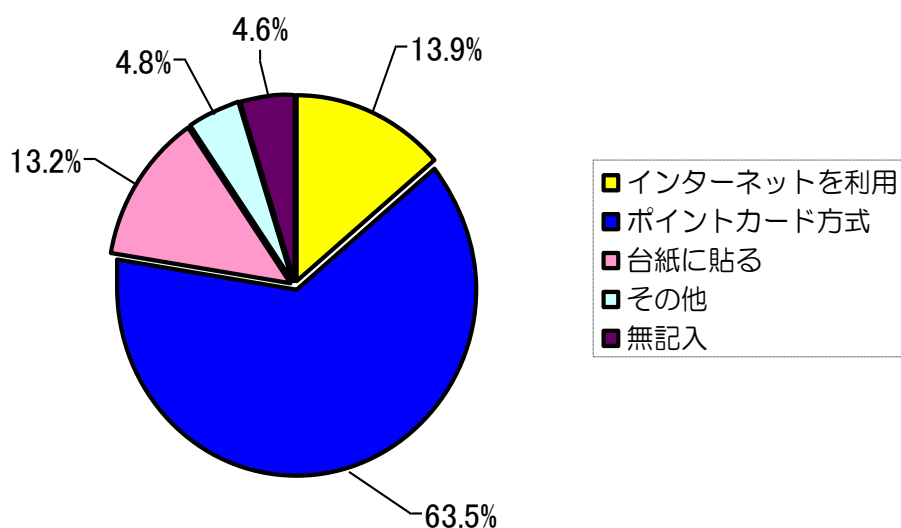
その他の記述には、このような仕組みはいらない、興味がない、ポイントは貯めないなど、この仕組み自体に反対の意見が多かった。また、ポイントを個人で貯めるのではなく、全体のポイントに応じて自動的に木を植えたりするなどの記述もあった。



21.あなたはどのような方法ならばポイントを貯めますか？ 次のうち、よいと思うものを1つ選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
インターネットを利用してポイントを貯める	112	13.9
スーパー・デパートのポイントのようなポイントカード方式	513	63.5
台紙に貼る	107	13.2
その他	39	4.8
無記入	37	4.6
計	808	100.0

【その他】貯めない(6)。利用しない。店頭レジで登録台紙にスタンプを押す。既存のポイントカード、クレジットカード、あるいは携帯サービスへの付随サービス、など

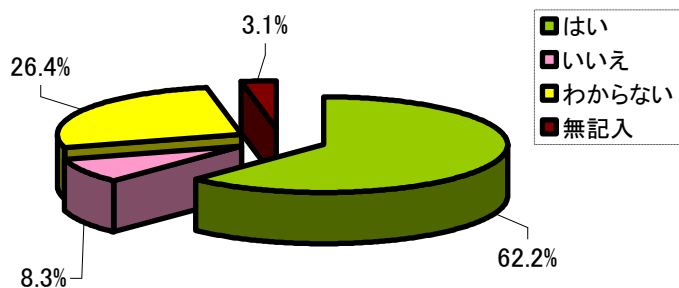


「スーパー・デパートのポイントのようなポイントカード方式」を望んでいる人(513人、63.5%)が圧倒的に多かった。第2位は「インターネットを利用してポイントを貯める」(112人、13.9%)、第3位は「台紙に貼る」(107人、13.2%)だった。インターネットを利用したり、台紙にポイントを貼るのは面倒なためか、回答した人は少ない。また、インターネットを利用できる環境にいない人も多いことが考えられる。

22.あなたはポイントを貯めるシステムに参加したいと思いますか。次のうち1つを選んで、番号を記入してください。

項目	数	%
はい	503	62.2
いいえ	67	8.3
わからない	213	26.4
無記入	25	3.1
計	808	100

ポイントを貯めるシステムに「参加したい」と回答した人は、全体の62.2%で503人いた。続いて、「わからない」と答えた人は213人(26.4%)、「参加したくない」人は67人(8.3%)しかいなかった。回答者の約四分の一は、このシステムの是非によって参加するか否かを決めるのだろう。このシステムを導入するなら、消費者の意見を十分に取入れたものにする必要がある。



まとめ

●「京都議定書」の具体的内容

今年2月に「京都議定書」が発効されて以来、二酸化炭素などの温室効果ガス削減目標についてさまざまなメディアで報道されてきた。そのためか、回答者の85%が森林による二酸化炭素吸収分が含まれていることを知っていると答えている。しかし、その対象となる森林については、4人に1人が分からないと回答。また、3人に1人が日本で削減しなければならない温室効果ガス6%(1990年比)のうち、3.9%が国内の森林によるものだと知らなかったと回答している。このように具体的内容になると「分からない」「知らない」人が多い。

一方、どのように計算して3.9%となったのか、国は根拠を示すべきだとの意見もある。

●「木」の使い方

約8割の人が世界の森林破壊と日本の森林荒廃の違いを知っている。そして国産材や間伐材を利用した紙について聞いたところ、7割以上の人が「環境破壊につながらない木や紙に限って、積極的に使う方がよい」と答えている。間伐材を使用した紙や古紙再生紙を使うべきだが、環境破壊につながらない木や紙ではあっても、「積極的に使うべきではない」と考える。資源は無駄に使用せず、発生抑制を心がけたい。

あなたの住まいにもっと木を取り入れたいか聞いたところ、圧倒的多数(約85%)の人が「はい」と回答。しかし、「いいえ」と答えた理由に「既に十分木を使っている」「マンションなので手を加えられない」を挙げている。つまり、住まいに木を取り入れたく「ない」のではないことが分かる。今後、マンションでも木を取り入れる工夫や提案などの情報提供も必要となってくるだろう。

●木製品について

木製品を昔は使っていたのに、今は使っていない理由を聞いたところ、まず、買いたくても手に入らない、手に入れた後は手入れが大変、大変な手入れをしても黒ずんでしまう。その上、価格が高い。言い換えれば、どこで木製品を販売しているか分からない、上手な手入れ方法が分からないので黒ずんでしまう、価格の比較のみで木とその他の素

材の比較情報がない、など情報提供のあり方に問題があると考えられる。

木製品が少なくなっている理由としては、プラスチックの安価と軽量が消費者に受け入れられたためだろう。その上、デザイン性や色彩もプラスチックの方が優位である。今後、木製品の巻き返しが望まれるが、それには、木に関する正しい情報や消費者が望むものを製造する必要がある。また、職人の育成も大きな課題だろう。

木の製品で「昔は使っていたのに、今は使っていない物」を見ると、約5割の人が「お風呂の手桶・すのこ」を挙げ、約4割の人が「浴槽」と答えている。日本のお風呂の在り方が変化したことがうかがえる。また、約3割の人が「昔は使っていたのに、今は使っていない物」として「まな板」を挙げている。まな板を持っていないのか、プラスチック製のまな板を使用しているのか、気になるところだ。

●ポイント制度について

国産材の利用を促進するために、国産材を使った製品を買ったらポイントを付けるシステムについては、約半数の人が「自分が貯めたポイントに応じて山に木を植えてくれる」を選んでいる。その方法の第1位はポイントカード式で、このシステムに参加すると約6割が回答。ポイントシステムを成功させるには、消費者が望む国産材の製品を多くの店舗が扱うこと、さらに全国共通にする必要がある。現時点では、非常に難しいと思われる。準備にはかなりの時間がかかるだろう。一方、その他の記述を見ると、このようなシステムはいらない、無駄であると考えている人が多いことも忘れてはならない。

●自由意見

516件の意見や要望の記述があった。内訳は下記の通り、また、〇〇ページに全文を記載した。

企業(5件)、教育(6件)、ポイント制(6件)、学校・公共施設(7件)、子ども・孫(8件)、割り箸(9件)、消費者(9件)、アンケート(10件)、人材(12件)、住宅(18件)、PR(19件)、要望(20件)、情報(31件)、行政・政策(31件)、間伐(34件)、森林事業(38件)、価格(50件)、木の製品(77件)、その他(126件)